

不思議がいっぱい！ 友達と遊ぶと楽しいよ！

園では、年長組が年少組から畑でスナップエンドウやそら豆、玉ねぎ、ジャガイモを育て、毎日水やりをしてきました。たくさん収穫ができて、おいしく食べられて子ども達は大喜びでした。年少組はオジギソウを植え、赤ちゃんオジギソウでも、おじぎをすることにびっくりしながら生長を楽しみに毎日せつせと水やりをしています。



廊下には、メダカやエビ・おたまじゃくしの赤ちゃん、カブトムシの幼虫、モンシロチョウやアゲハの幼虫がいます。年長組の子ども達は、カブトムシのうちを取り除く世話をしながら、幼虫とにらめっこし、「ようちゅうって、からだに毛がいっぱいあるんだ」「おすとめすは、ようちゅうのときからちがうんだ」等 始め

はさわるのを嫌がっていた子がありますが、だんだん親しみを覚え、可愛さを感じてきた子もいます。

また、年少の子ども達もカタツムリやアメリカザリガニとにらめっこしたりさわったりし

ながら、生き物に親しみをおぼえ、再度絵本を読んでもらったり、虫眼鏡で発見したりしながら驚きや感嘆の声をあげています。

幼稚園は生き物でいっぱい！ふれあい、育てる中で生き物と仲良くなり、命の尊さや神秘さを感じてほしいと願っています。



かたつむりさんは、ニンジンがすきなんだね。かいがらもたべるよ。

生活を見直してみませんか？

子ども達の話や個人懇談の話の中で、子ども達の遊びが、YouTube やゲーム等が占める割合が高いことが分かりました。みなさんのご家庭では、どうですか。時間や内容等ルールと一緒に考えられていますか。依存症の危機はないですか。

今年度から福山市では1年生を始め小中学生全員にタブレットが配布されています。教育も「リアル&デジタルの時代」に突入しました。タブレットの導入は個に応じた学びができ、好奇心を高め、探求心を育むためには大きな力になると思います。しかし、だからこそリアルな学びの役割も大きいです。

幼稚園では、ブランコ・滑り台等遊具を使った遊びもできますが、アイデアを出しながら自分達で工夫してつくる・主体的な遊びを推奨しています。しっかり土や水・虫・草花等自然とふれあい、夢中になって遊びに浸る経験を積み重ねることで、遊ぶ楽しさや根気強さ、意欲、自信、他者への思いやり・協調性等生きていくうえで大切な基礎となる力（非認知的能力）を身に付けていきます。

コロナ禍の中、まただんだん気温が高くなり、熱中症が気になる季節となり、室内遊びが増えると思います。しかし家庭でも受動的な遊びではなく、身の回りの物を使って制作したり〇〇を夢中になって集めたり、家族や友だちとふれあったり自分で考え、創造する能動的遊びができるといいですね。



【光る泥団子を目指して修行中】



【異年齢で話をしながら遊ぶ子ら】

幼稚園も子育て支援の役割を担っています！

コロナ禍でなかなか日常が取り戻せない日々が続く、人とつながる機会が激減しています。行事も PTA 活動も中止・変更をせざるを得なく、また未就園児の会「にこにこ会」も昨年度より一回も実施できていません。そんな中、保護者の方は、子育てについていろいろな悩みを抱えられているのではないのでしょうか。

幼稚園や保育園・子ども園等は、子どもの保育だけでなく、保護者の方の子育て支援の役割を担っています。「こんなことぐらいで・・・」「・・・できていないから」等思わないで、気軽にご相談ください。話すことで気持ちが軽くなったり、ヒントを得たりすることもあります。内容によっては、関係機関と連携し、専門的知識を得ることもできます。

